

年間授業計画

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書： 標準 現代の国語（第一学習者）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
理解編—思考力、判断力を培う 世界を広げる 「なぜ本を読むのか（又吉直樹）」 言語が開く世界 「言葉遣いとアイデンティティ（中村桃子）」 表現編—伝える力を培う 話して伝える 「話し方の工夫」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	・指導事項 「なぜ本を読むのか（又吉直樹）」 「言葉遣いとアイデンティティ（中村桃子）」 「話し方の工夫」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	○	○	○	9
1 学期 定期考査			○	○		1
理解編—思考力、判断力を培う 人間と文化 「水の東西（山崎正和）」 「ステレオタイプの落とし穴（原沢伊都夫）」 表現編—伝える力を培う 話して伝える 「待遇表現」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	・指導事項 「水の東西（山崎正和）」 「ステレオタイプの落とし穴（原沢伊都夫）」 「待遇表現」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1
理解編—思考力、判断力を培う 生活の中の表現	・指導事項 「法律の改正に関わる文章を読み	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。				

	<p>「法律の改正に関わる文章を読み比べる」 「図書委員会のポスターの掲示内容を検討する」 「図書委員会のポスターの掲示内容を検討する」 表現編—伝える力を培う 話して伝える 「論理的な表現」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。</p>	<p>比べる」 「図書委員会のポスターの掲示内容を検討する」 「論理的な表現」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用</p>	<p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。</p>	○	○	○	12
2 学 期	定期考査			○	○		1
	<p>理解編—思考力、判断力を培う 社会と人間 「『弱いロボット』の誕生（岡田美智男）」 「人はなぜ仕事をするのか（内田樹）」 「人はなぜ仕事をするのか（内田樹）」 表現編—伝える力を培う 話して伝える 「情報の探索と選択」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・情報の妥当性を具体的に検討し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。</p>	<p>・指導事項 「『弱いロボット』の誕生（岡田美智男）」 「人はなぜ仕事をするのか（内田樹）」 「情報の探索と選択」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・情報の妥当性を具体的に検討し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。</p>	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>理解編—思考力、判断力を培う 現代と社会 「イースター島になぜ森がないのか（鷲谷いづみ）」 「黄色い花束（黒柳徹子）」 「黄色い花束（黒柳徹子）」 「情報源の明示」 表現編—伝える力を培う 話して伝える 「情報源の明示」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。</p>	<p>・指導事項 「イースター島になぜ森がないのか（鷲谷いづみ）」 「黄色い花束（黒柳徹子）」 「情報源の明示」 ・教材 教科書 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組 ・ 6 組

使用教科書： 標準 言語文化（第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>小説を読む（一） 【知識及び技能】 □ 常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み プリント 発問評価 ノート テスト 一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめることができる。</p>	○	○	○	4
<p>古文入門 【知識及び技能】 □ ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み プリント 発問評価 ノート テスト 一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合うことができる。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりすることができる。</p>	○	○	○	3
<p>漢文入門 【知識及び技能】 □ ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み プリント 発問評価 ノート テスト 一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・文章の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p>	○	○	○	6

1 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもつて、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解することができる。				
	定期考査		○	○		1

<p>詩の楽しみ 【知識及び技能】 □ 近代詩の表現の技法とその効果について理解する。 【思考・判断・表現】 ・近代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品に示された作者の思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとする。 ・詩の発想のおもしろさを積極的に考え、表現に即して説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み プリント 発問評価 ノート テスト 一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・詩の構成や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。</p>	○	○	○	4
<p>古文に親しむ 【知識及び技能】 □ ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として動詞の活用について、文語のきまりを理解する。 【思考・判断・表現】 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって正格活用動詞の活用表を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み プリント 発問評価 ノート テスト 一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって変格活用動詞の活用表を作成しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>故事成語 【知識及び技能】 □ ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み プリント 発問評価 ノート テスト 一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・文章の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解することができる。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>小説を読む(二) 【知識及び技能】 □ ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考・判断・表現】 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み プリント 発問評価 ノート テスト 一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>歌物語を読む 【知識及び技能】 □ ・語句の量を増やし、語彙を豊かに</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み プリント 発問評価 	<p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現な</p>				

2 学 期	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「東下り」では課題に応じて調査する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとする。 ・古文読解における助動詞の重要性について理解し、学習の見通しをもって助動詞の意味とはたらきを理解しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用 	<p>どについて理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 ・古文読解における助動詞の重要性について理解し、学習の見通しをもって助動詞の意味とはたらきを理解しようとしている。 	○	○	○	4
	<p>史伝を読む</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に史伝を読み、戦国時代の遊説家の説得術を解釈しようとする。 <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に史伝を読み、戦国時代の遊説家の説得術を解釈しようとしている。 	○	○	○	4
	<p>短歌と俳句</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な、俳句の表現の技法とその効果について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。 	○	○	○	5
	<p>随筆を読む(二)</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・文語のきまりを理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章段の構成・展開や表現の仕方などの特徴を理解し、学習の見通しをもって評価する。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章段の構成・展開や表現の仕方などの特徴を理解し、学習の見通しをもって評価しようとしている。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合うようとしている。 	○	○	○	4

<p>中国の思想 【知識及び技能】 □ ・訓読のきまりを理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・孔子のエピソードを調べて文章にまとめる課題に応じて調査する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするとを説明する。 ・孔子について興味をもち、図書館の資料などを用いて、そのエピソードを調べる。</p>	<p>・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするとを粘り強く説明しようとしている。 ・孔子について興味をもち、図書館の資料などを用いて、そのエピソードを調べようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>小説を読む(三) 【知識及び技能】 □ ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉える。</p>	<p>・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>軍記物語を読む 【知識及び技能】 □ ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・原文と口語訳とを比較しながら、軍記物語の合戦場面の生き生きとした描写を味わう。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている先駆けの功名に対する武士の考え方を捉え、内容を解釈する。 ・古文の原文と口語訳、さらに複数の口語訳を読み比べ、理解したことをまとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価する。 ・積極的に二つの口語訳を読み比べ、学習課題に沿ってそれらを比較して批評する。</p>	<p>・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとしている。 ・積極的に二つの口語訳を読み比べ、学習課題に沿ってそれらを比較して批評しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>伝統と文化 【知識及び技能】 □ ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・主として和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・調べや修辞技法に留意しながら、</p>	<p>・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏ま</p>	○	○	○	3

3 学 期	<p>和歌の鑑賞のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の修辭技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉える。 ・作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞する。 	<p>えて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の修辭技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。 					
定期 考 査	<p>和歌と俳諧</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な俳諧の表現の技法とその効果について理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・文語のきまりを理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 ・俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深める。 ・俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深めようとしている。 ・俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えようとしている。 	○	○	○	3
				○	○		1

年間授業計画

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組

使用教科書：標準 言語文化（第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態 配当			
			知	思	態	時数
<p>古文入門(古文の学習・兎のそら)</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・ 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・ 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での取り組み ・ プリント ・ 発問評価 ・ ノート ・ テスト ・ 一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・ 時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合うことができる。 ・ 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりすることができる。 	○	○	○	6
<p>漢文入門</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・ 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・ 漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・ 故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 我が国の文化と外国の文化との関係 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・ 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 ・ 日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での取り組み ・ プリント ・ 発問評価 ・ ノート ・ テスト ・ 一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・ 文章の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解することができる。 	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
<p>詩の楽しみ</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <p>近代詩の表現の技法とその効果について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での取り組み ・ プリント ・ 発問評価 ・ ノート 	<p>【知識・技能】</p> <p>我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p>				

1 学 期	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品に示された作者の思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・一人一台端末の活用 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 	○	○	○	6
	<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとする。 ・詩の発想のおもしろさを積極的に考え、表現に即して説明する。 		<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・詩の構成や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。 				
	<p>古文に親しむ</p> <p>【知識及び技能】 □</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・プリント 	<p>【知識・技能】</p> <p>我が国の言語文化に特徴的な語句の基を増し、それらの文化的背景について理解を深</p>				

<p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として動詞の活用について、文語のきまりを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって正格活用動詞の活用表を作成する。</p>	<p>・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用</p>	<p>し、これらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって変格活用動詞の活用表を作成しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>故事成語 【知識及び技能】 □ ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解する。</p>	<p>・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・文章の成立した背景を踏まえ、内容を解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解することができる。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>小説を読む(二) 【知識及び技能】 □ ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容を解釈を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉える。</p>	<p>・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>歌物語を読む 【知識及び技能】 □ ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考</p>	<p>・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p>	○	○	○	6

<p>え方を捉え、内容を解釈する。 ・「東下り」では課題に応じて調査する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとする。 ・古文読解における助動詞の重要性について理解し、学習の見通しをもって助動詞の意味とはたらきを理解しようとする。</p>		<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 ・古文読解における助動詞の重要性について理解し、学習の見通しをもって助動詞の意味とはたらきを理解しようとしている。</p>				
<p>史伝を読む</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <p>・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・積極的に史伝を読み、戦国時代の遊説家の説得術を解釈しようとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・積極的に史伝を読み、戦国時代の遊説家の説得術を解釈しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>短歌と俳句</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な、俳句の表現の技法とその効果について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとする。</p>	<p>・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>随筆を読む(二)</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・文語のきまりを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・各章段の構成・展開や表現の仕方などの特徴を理解し、学習の見通しをもって評価する。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合う。</p>	<p>・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・各章段の構成・展開や表現の仕方などの特徴を理解し、学習の見通しをもって評価しようとしている。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。</p>	○	○	○	6
<p>中国の思想</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <p>・訓読のきまりを理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</p>	<p>・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p>				

2
学
期

<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・孔子のエピソードを調べて文章にまとめる課題に応じて調査する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とすることを説明する。 ・孔子について興味をもち、図書館の資料などを用いて、そのエピソードを調べる。 	<p>・一人一台端末の活用</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とすることを粘り強く説明しようとしている。 ・孔子について興味をもち、図書館の資料などを用いて、そのエピソードを調べようとしている。 	○	○	○	5
<p>小説を読む(三)</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>軍記物語を読む</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原文と口語訳とを比較しながら、軍記物語の合戦場面の生き生きとした描写を味わう。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている先駆けの功名に対する武士の考え方を捉え、内容を解釈する。 ・古文の原文と口語訳、さらに複数の口語訳を読み比べ、理解したことをまとめる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価する。 ・積極的に二つの口語訳を読み比べ、学習課題に沿ってそれらを比較して批評する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとしている。 ・積極的に二つの口語訳を読み比べ、学習課題に沿ってそれらを比較して批評しようとしている。 	○	○	○	6
<p>伝統と文化</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・主として和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・プリント ・発問評価 ・ノート ・テスト ・一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典特有の表現などについて理解を深めている。 				

3 学 期	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べや修辞技法に留意しながら、和歌の鑑賞のしかたを理解する。 和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 		<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 	○	○	○	5
	<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉える。 作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞する。 		<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。 				
	<p>和歌と俳諧</p> <p>【知識及び技能】 □</p> <ul style="list-style-type: none"> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の言語文化に特徴的な俳諧の表現の技法とその効果について理解する。 「古典のしるべ」と読み合わせて、我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 文語のきまりを理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深める。 俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み プリント 発問評価 ノート テスト 一人一台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深めている。 	○	○	○	5
<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 		<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深めようとしている。 俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えようとしている。 					
定期考査				○	○		1

教科： 国語	科目： 現代の国語	単位数： 2	科目 現代の国語
対象学年： 第1学年	標準 現代の国語（第一学習者）		
使用教科書： 国語			
【知識及び技能】	【目標】		
【思考力、判断力、表現力等】	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。		
【学びに向かう力、人間性等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

科目 現代の国語	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しみこももて自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもととしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	徳	体	記号 評価 割合
1 学期	理解編—思考力、判断力を用いる ・ 文章をよめる 「なぜ本を読むのか（又吉直樹）」 「言葉遣いとアイデンティティ（中村純子）」 「言葉遣いとアイデンティティ（中村純子）」 表現編—伝えよう力を用いる 「話して伝える」 「話し方の工夫」	・ 指導事項 「なぜ本を読むのか（又吉直樹）」 「言葉遣いとアイデンティティ（中村純子）」 「話し方の工夫」 ・ 教材 教科書 授業 学習課題集 漢字ワーク プリント ・ 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・ 主眼と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・ 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・ 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	○	○	○	7
	理解編—思考力、判断力を用いる 人間と文化 「水のある山崎正和」 「ステレオタイプの善と悪（原沢伊都子）」 表現編—伝えよう力を用いる 「待遊楽園」 「話して伝える」 「待遊楽園」	・ 指導事項 「水のある山崎正和」 「ステレオタイプの善と悪（原沢伊都子）」 「待遊楽園」 ・ 教材 教科書 授業 学習課題集 漢字ワーク プリント ・ 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・ 主眼と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・ 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・ 積極的に読書表現を理解し、学習課題に沿って読もうとしている。	○	○	○	14
2 学期	理解編—思考力、判断力を用いる 社会の発展 「法律の成法に関わる文章を読み比べる」 「消費者委員会のボスターの指示内容を検討する」 表現編—伝えよう力を用いる 「話して伝える」 「論理的な表現」	・ 指導事項 「法律の成法に関わる文章を読み比べる」 「消費者委員会のボスターの指示内容を検討する」 「論理的な表現」 ・ 教材 教科書 授業 学習課題集 漢字ワーク プリント ・ 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・ 主眼と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・ 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・ 進んで主眼と論拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	○	○	○	10
	理解編—思考力、判断力を用いる 社会と人間 『新しいロボット』の誕生（岡田英智男） 「人はなぜ仕事をするのか（内田樹）」 表現編—伝えよう力を用いる 「話して伝える」 「情報の採選と選択」	・ 指導事項 『新しいロボット』の誕生（岡田英智男） 「人はなぜ仕事をするのか（内田樹）」 「情報の採選と選択」 ・ 教材 教科書 授業 学習課題集 漢字ワーク プリント ・ 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・ 主眼と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・ 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・ 情報の妥当性を具体的に検討し、学習課題に沿って情報を採ろうとしている。	○	○	○	14
3 学期	理解編—思考力、判断力を用いる 現代と未来 「イースター島になぜお祭りがなかったのか（鷲宮いつみ）」 「黄色い花束（黒柳徹子）」 表現編—伝えよう力を用いる 「話して伝える」 「情報源の明示」	・ 指導事項 「イースター島になぜお祭りがなかったのか（鷲宮いつみ）」 「黄色い花束（黒柳徹子）」 「情報源の明示」 ・ 教材 教科書 授業 学習課題集 漢字ワーク プリント ・ 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・ 主眼と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・ 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・ 進んで情報採選の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を採ろうとしている。	○	○	○	10
	理解編—思考力、判断力を用いる 現代と未来 「イースター島になぜお祭りがなかったのか（鷲宮いつみ）」 「黄色い花束（黒柳徹子）」 表現編—伝えよう力を用いる 「話して伝える」 「情報源の明示」	・ 指導事項 「イースター島になぜお祭りがなかったのか（鷲宮いつみ）」 「黄色い花束（黒柳徹子）」 「情報源の明示」 ・ 教材 教科書 授業 学習課題集 漢字ワーク プリント ・ 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ 常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・ 主眼と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・ 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・ 進んで情報採選の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を採ろうとしている。	○	○	○	10
				○	○	○	1 合計 60

野津田 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：高等学校 新公共（第一学習社）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 基本的な知識の習得のほか、現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりになる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1編 公共の扉 第1章「公共的な空間をつくる私たち」 第2章「公共的な空間における人間としてのあり方生き方」 第3章「公共的な空間における基本的原理」 【知識及び技能】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを理解する。 ・諸資料から必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手がかりとなる考え方も活用しながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 (定期考査)	・指導事項 第1編 第1章「公共的な空間をつくる私たち」 ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして 第2章「公共的な空間における人間としてのあり方生き方」 ①人間と社会のあり方についての見方・考え方 第3章「公共的な空間における基本的原理」 ①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任・義務 ④日本国憲法に生きる基本原理 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の利用	【知識・技能】 自らが自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともに、よりよい社会の形成に結びつくことを理解している。 諸資料からよりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義 第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成 【知識及び技能】 ・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて	・指導事項 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 ①私たちと法 ②法と基本的人権 ③自由に生きる権利と法・規範 ④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範 ⑥法をよりよいものにするための権利 主題2 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任 主題3 ①裁判所と私法 ②国民の司法参加 第2章 政治的な主体となる私たち 主題4	【知識・技能】 法や規範の意義及び役割、契約と消費者の権利・責任、司法参加の意義、政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 中学校で学んだ知識や、他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	16

て理解する。
・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。
【思考・判断・表現】
・中学校までに学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

(定期考査)

- ① 私たちと選挙
- ② 選挙の現状と課題
- ③ 世論の形成と政治参加
- ④ 国会と立法
- ⑤ 内閣と行政
- ⑥ 地方自治と住民福祉

- ・教材
教科書、プリント
- ・一人1台端末の利用

○

○

2 学 期	<p>主題 5 国際社会と国家主権 主題 6 日本の安全保障と防衛 主題 7 国際社会の変化と日本の役割</p> <p>(定期考査)</p> <p>第 3 章 経済的な主体となる私たち 主題 8 雇用と労働問題 主題 9 社会の変化と職業観 主題 1 0 市場経済の機能と限界</p> <p>【知識・技能】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及び活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 ・諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> <p>(定期考査)</p>	<p>・指導事項 主題 5 国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題 主題 6 日本の安全保障と防衛 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和 主題 7 国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争</p> <p>第 3 章 経済的な主体となる私たち 主題 8 雇用と労働問題 ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題 主題 9 社会の変化と職業観 ①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業 主題 1 0 市場経済の機能と限界 ①市場経済と経済運営 ②市場のしくみ ③経済発展と環境保全 ④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉</p> <p>・教材 教科書、プリント</p> <p>・一人 1 台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 国際社会と国家主権、日本の安全保障と防衛、国際社会の変化と日本の役割に関する現実社会の事柄や課題を理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> <p>【知識・技能】 雇用と労働問題、社会の変化と職業観、市場経済の機能と限界に関する現実社会の事柄や課題を理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。</p>	○	○	○	12
	○	○	○	1			
	○	○	○	16			
○	○	○	1				
<p>主題 1 1 金融のはたらき 主題 1 2 財政の役割と社会保障 主題 1 3 経済のグローバル化</p>	<p>・指導事項 主題 1 1 金融のはたらき ①金融の意義と役割 ②金融のいま 主題 1 2 財政の役割と社会保障 ①財政のしくみと租税 ②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障 主題 1 3 経済のグローバル化 ①国際分業と貿易 ②国際収支と国際経済体制 ③外国為替相場の動き ④グローバル化する経済 ⑤地域的経済統合 ⑥国際社会における貧困や格差 ⑦地球環境問題 ⑧資源・エネルギー問題 ⑨国際社会のこれから</p>	<p>【知識・技能】 ・金融のはたらき、財政の役割と社会保障、経済のグローバル化に関する現実社会の事柄や課題を理解している。 ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・課題解決に向けて事実を基に協働して考察し、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済のグローバル化、地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関する現代の諸課題を、主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	12	

3 学 期	<p>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>【知識・技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 これまでの学習を関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関する現代の諸課題を、主体的に解決しようとする。</p> <p>(定期考査)</p>	<p>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>①排出権取引を考える～地球環境問題</p> <p>②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題</p> <p>③ゲノム編集を考える～生命倫理</p> <p>④インターネットによる投票を考える～情報</p> <p>⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題</p> <p>・教材 教科書、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	○	1
	合計				
	70				

年間授業計画

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～4組

使用教科書：「地理総合 世界に学び地域へつなぐ」、 「新詳高等地図」

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

諸地域の多様

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数		
第1章 地図とGISの活用								
<ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置情報の基礎として、球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解する。 経度の違いから時差の概念を捉え、日常生活における時差計算の技能を身につけ、球面として成り立つ世界認識をもつ。 	第1節 球面上の世界	地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できたか。 球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できたか。 球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができたか。	○			3		
	第2節 日本の位置と領域	世界地図の主な図法と利用について理解し、国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できたか。 世界地図を図法の違いにより使い分け、日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できたか。	○		○		4	
	第3節 国内や国家間の結びつき	人・モノ・情報の結びつきに関する知識や、統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。主題に対して適切な統計地図を作成できたか。 複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。 統計資料を意欲的に読み取り、それを表現できたか。統計地図の作成に意欲的に取り組むことができたか。	○		○			6
<ul style="list-style-type: none"> グローバル化が進む世界において、国家間の協調や不均衡を理解するために、世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフのつくり方を理解する。 交通・通信、貿易・物流、観光の視点から、人やもの、情報、資本・サービスの移動のようすについて、統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身につける。 グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために、資料を根拠として示しながら課題解決のための方策を多面的・多角的に考える。 	第4節 暮らしのなかの地図とGIS	GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。地理院地図などインターネット上のGISの機能を利用し、地理空間情報を活用できたか。 身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できたか。 身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用できたか。GISの作業に意欲的に取り組み、GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。	○		○	4		
	第2章 地理的環境の特色							
	<ul style="list-style-type: none"> 世界の大地形の広がりがプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連し、変動帯に位置する場所では山岳地域や高原を形成し、地震あるいは場所によって火山を伴うことを理解する。 河川、海岸などの外的営力による地形の形成とその広がり、およびそれらの地形と対応した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について、写真や地形図などの資料を通して考える。 	第1節 地形と生活文化	地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴、および地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。 世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較し、また生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。 地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。	○			○	4
1学年								

<ul style="list-style-type: none"> 世界的な視野から大気や海流が循環するしくみを捉え、地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解する。 降水量と気温の特徴をふまえながら世界の気候をケッペンの気候区分から捉え、植生や農業などの人々の生活文化に多様な影響を与えていることを理解する。 熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯の各気候は人々の生活文化とどのような関わりをもつのか、どのような生活の工夫があるのか、写真や雨温図などの資料から考える。 	第2節 気候と生活文化	<p>大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみ、各気候の分布の特徴を理解できたか。雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り、整理できたか。</p> <p>世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していること、気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を、資料をもとに考察できたか。</p> <p>雨温図や写真の判読を通じて、世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。</p>	○			5	
<ul style="list-style-type: none"> 世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成り立つ現状を捉え、世界スケールにおける第1次産業、第2次産業、第3次産業の地域的な特徴をグローバル化の観点で理解する。 産業の発達と生活文化がどのようなかかわりをもつのか、産業はどのように変化してきているのか、主題図などの資料を通じて理解を深める。 	第3節 産業と生活文化	<p>世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。</p> <p>自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。</p> <p>身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。</p>	○		○	4	
<ul style="list-style-type: none"> 世界でみられる生活文化の多様性について、宗教、言語の分布や人々との関わりを主題図や写真などの資料を通じて理解するとともに分布を示す要因について理解する。 世界の少数民族、移民、難民の問題を捉えながら、マイノリティなどをふまえた多様な人々に配慮し、自他の文化を尊重する社会の実現を考える。 	第4節 宗教・言語と生活文化	<p>世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解したか。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の宗教の分布と特徴を捉えることができたか。</p> <p>生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、また世界的な難民と移民の問題を地図などの資料から捉え、考察できたか。</p> <p>世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。難民と移民の問題構造を調べ、難民問題の解決策を意欲的に探究できたか。</p>	○		○	3	
第3章 世界各地の生活文化							
<ul style="list-style-type: none"> 社会経済システムの変化に焦点を当て、東アジアの中国と韓国を例に両国の特徴を主題図やグラフなどの資料を通じて捉える。 特に世界や日本、中国、韓国の3か国とのつながりから両国の経済発展の発達過程について理解し、経済発展の結果として起きている様々な問題について生活文化と対応させながら考える。 	第1節 経済発展と生活文化の変化～東アジア	<p>図版や写真から社会経済システムの特徴と変化を捉え、課題を整理できたか。中国や韓国を例に経済発展が生活文化に与えた影響について理解できたか。</p> <p>中国や韓国の工業の発達に伴う人口や環境などへの影響について、主題図などの資料をもとに考察できたか。日中韓の連携を学習内容から見出し、新しい関係づくりを捉えることができたか。</p> <p>身の回りの中国や韓国の商品を意欲的に調べ、中国や韓国の経済成長と課題について、日本を含めた日中韓の貿易や観光などの経済的な関係を意欲的に探究できたか。</p>	○		○	4	
<ul style="list-style-type: none"> 多民族社会と地域統合に焦点を当て、様々な言語や宗教をもつ東南アジア諸国の人々の生活文化にはどのような特色がみられるのか、主題図や写真などの資料をもとに理解する。 特に仏教、イスラム教、キリスト教の各文化圏における生活文化の多様性と多言語・多民族社会の様子、また豊かな資源を背景に経済発展を遂げるASEAN諸国の現状と課題について考える。 	第2節 宗教の多様性と生活文化～ASEAN諸国	<p>地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴、および地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。</p> <p>世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較し、また生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。</p> <p>地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。</p>	○		○	5	
<ul style="list-style-type: none"> 水資源に焦点を当て、地形、気候などの自然環境を捉えながら、水資源と宗教、農業、文化や産業の成立の関わりを主題図やグラフなどの資料を通じて理解する。 経済成長を背景とした水資源の課題を周辺国とのつながりから考える。 	第3節 水の恵みと生活文化～南アジア	<p>図版や写真から自然環境を捉え、生活文化との対応や経済の変化を整理できたか。水の恵みを受けた農業と生活文化の関わりについて理解できたか。</p> <p>インドを例に自然環境と農業のつながりを資料をもとに考察できたか。経済発展による生活文化の変化と、それに伴う水問題の課題について考察できたか。</p> <p>生活文化と産業の進展の関連や市場経済の進展による自然環境への影響など、地域の課題を多角的、多面的に探究できたか。</p>	○		○	2	
<ul style="list-style-type: none"> イスラームに焦点を当て、気候条件、宗派の違い、聖地メッカからの距離、エネルギー資源の有無などを基盤とした経済水準の違いについて理解する。 ムスリムの生活文化に差異をもたらしている要因を主題図や写真などの資料をもとに考える。 社会問題の例として、パレスチナやエルサレムの問題、少数民族の問題を民族・言語の分布から理解する。 	第4節 イスラーム社会の多様性と生活文化～イスラーム圏	<p>図版や写真からイスラームの特徴を捉え、自然環境と生活文化との対応、またイスラーム圏の課題を日本との関連をふまえて整理できたか。豊富なエネルギー資源による恵みと生活文化の変化を理解できたか。</p> <p>写真に見られる共通性と異質性をまとめたうえで、写真と地図を組み合わせ考察し、イスラーム圏の生活文化を説明できたか。地域紛争の背景としての民族や宗教・宗派の違いについて考察できたか。</p> <p>イスラーム圏の生活文化を意欲的に調べ、圏内の共通点や相違点を探究できたか。課題がどのように日本と関わっているかを考え、日本や自身が取り組むべきことは何かを追究できたか。</p>	○		○	4	
<ul style="list-style-type: none"> 自然環境と生活文化の対応とその多様性に焦点を当て、モノカルチャー経済の構造は残りながらも、多様性に富む自然環境や食文化をもち、資源開発などを背景とした近年の経済成長について主題図や写真などの資料を通じて理解する。 経済成長や開発などを背景としたアフリカの課題を自然環境と生活文化の関わりから考える。 	第5節 多様な気候と生活文化～アフリカ	<p>図版や写真から多様な自然環境の特徴を捉え、自然環境と生活文化との対応と地域の変化を整理できたか。生活文化を地形や気候と関連づけ、農業と食文化の関連について理解できたか。</p> <p>地形、気候、歴史的背景とともに生活文化の多様性を考察できたか。経済成長による生活文化の変化と気候変動などをふまえて、アフリカの課題について捉え、課題やその対策を説明できたか。</p>	○		○	3	

2 学 期			食文化や生活の工夫を調べ、多様な自然環境の広がりとの対応を見出し、意欲的に探究できたか。アフリカの課題をまとめ、SDGsをふまえた課題解決策を考えたり調べたりできたか。				○	
	・産業の発達と地域統合に焦点を当て、ヨーロッパを例に多様性と一体化をもつ産業の特徴やその歴史的背景を捉え、気候、言語・宗教の分布などを関連させながら主題図やグラフなどの資料をもとに理解する。 ・地域統合の長所とともにイギリスのEU離脱や加盟各国の移民排斥の動きの強まりなどの課題を整理する。 ・地域間格差が生じている現状を捉え、これからのヨーロッパのよりよい社会を目指して課題について考える。	第6節 経済統合による生活文化の変化～EUと周辺諸国	図版や写真から産業の発達や地域統合を捉え、自然環境や言語、宗教と関連づけて整理できたか。産業の発達と地域統合が生活文化に与えた影響を理解できたか。言語や宗派の違いを乗り越えEUが統合する背景を理解できたか。 ヨーロッパの農業と気候との対応や工業地域の近年の変化について、主題図をもとに考察できたか。EUへの加盟国と離脱する国があることをふまえ、EU統合に伴う生活への影響を考察し、今後の課題について資料をもとに協議できたか。 農業、工業の特徴を捉えるとともに、気候や地域統合の広がりなど他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組むことができたか。言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域統合とその課題について意欲的に探究できたか。	○		○		3
	・寒冷な自然環境に焦点を当て、ロシアを例に主題図やグラフなどの資料をもとに気候に制約を受ける農業など、自然環境と人々の生活との対応を理解する。 ・豊富な鉱物資源を背景にしたヨーロッパ諸国や日本など東アジアとの結びつきや近年の開発による自然環境への影響を考える。	第7節 寒冷な気候と生活文化～ロシア	図版や写真から寒冷な自然環境の特徴を捉え、生活文化や産業の発達と関連づけて整理できたか。周辺国との関連から産業の発達を捉え、経済発展が自然環境へもたらす影響を理解できたか。 寒冷な気候と生活文化との関連を捉え、開発が自然環境に与えた影響と課題について考察できたか。 日本周辺の自然環境とシベリアのつながりを捉え、自然環境の変化による影響を協議できたか。 寒冷地域の自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、ロシアの特徴を意欲的に追究できたか。 経済と環境の両面をふまえた開発と自然環境の保全を意欲的に捉えることができたか。	○		○		3
	・社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、主題図や写真などの資料を通じて、民族構成から多様な社会と歴史的背景を理解する。 ・企業的農業の発達とアメリカ合衆国の外食産業やICT産業などの多国籍企業が世界の経済や生活文化に影響を与えている現状を捉える。 ・アメリカ合衆国の貿易の問題についてグローバルな視点で考える。	第8節 グローバル化による生活文化の変化～アメリカ・カナダ	図版や写真からアメリカの産業を捉えながら、世界の生活文化や経済への影響を整理できたか。経済発展の基盤となる社会の多様性を捉え、アメリカの農業とグローバルな食文化との関係や産業の変化について理解できたか。 グローバルな視点やからアメリカの社会経済システムを主題図などの資料から捉え、世界の経済や生活文化への影響を考察できたか。産業や世界の貿易体制の変化を考察し、それに伴う世界やアメリカの課題について説明できたか。 アメリカの社会経済システムを農業、工業などの観点から多面的、多角的に捉え、世界への影響を意欲的に探究できたか。アメリカの貿易体制の葛藤を学習内容から意欲的に考え、世界への影響をふまえながら追究できたか。	○		○		4
	・開発に焦点を当て、ラテンアメリカで様々な人びとが生活している理由やプランテーションをはじめ農業や鉱業などの産業の多様性がみられる理由について、主題図やグラフなどの資料をもとに多様な自然環境や植民地時代の開発の影響、そして近年の社会経済システムの変化から捉える。 ・鉱工業が発展していく中で生じている貧富の差の現状を捉え、その解決に向けた取り組みを考える。	第9節 土地の開発による生活文化の形成～ラテンアメリカ	図版や写真から開発の背景を捉え、開発と自然環境、生活文化、産業との関わりを整理できたか。資料から開発により生じているラテンアメリカの課題を読み取ることができたか。 図版と写真から、自然環境と生活文化の共通性と異質性を開発の歴史から考察できたか。資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について、課題とともに協議できたか。 自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、開発の背景について意欲的に探究できたか。都市問題や経済問題、環境問題などについて意欲的に調べ、その要因と解決について協議できたか。	○		○		3
	・開発に焦点を当て、オーストラリアとニュージーランドの自然環境の違いを比較し、主題図や写真などの資料から植民の歴史とそこに展開する産業を捉え、両国の生活文化の違いを理解する。 ・オーストラリアとニュージーランドの生活文化の歴史的背景や現状と将来について、周辺国とのつながりや多文化社会と関連づけて考える。	第10節 植民と移民による生活文化の形成～オセアニア	図版や写真から農業と鉱業の観点からみた開発の背景を比較しながら整理できたか。周辺国とのつながりや多文化社会への取り組みを理解できたか。 2つの国の開発の背景を比較し、共通点と相違点を考察できたか。開発とともに進んだ多民族化と多文化共生について資料をもとに考察できたか。 2つの国を比較して開発の背景を捉え、植民と移民による産業の進展を意欲的に探究できたか。2つの国の課題を整理し、貿易や移民の変化を追究できたか。	○		○		2
	第3章 地球的課題と国際協力							
	・持続可能な地球社会を考えるうえで、地球規模で起きている環境問題は、一国だけで対応できるものではないこと、多面的・多角的に考えていくことが必要であること、自らとかわる問題であることをSDGsをふまえて認識する。 ・深刻な地球環境問題を生じている大気汚染、森林減少、砂漠化、気候変動について事例をあげて捉え、それぞれの影響と将来の予測から解決の取り組みについて考える。	第1節 地球環境問題	持続可能な社会を目指すSDGsの目標と趣旨を理解できたか。国際機関のウェブサイトや主題図、統計資料などから、環境問題の現状や原因を情報収集できたか。環境問題の現状を捉え、原因や影響を図解して整理できたか。 世界のどこで、どのような地球環境問題が生じているのかを資料をもとにまとめ、持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。SDGsの目標をふまえ、海や陸の豊かさを守るための国際的な取り組みや具体的な対策を提言できたか。 地球環境問題のしくみや原因の理解とともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できたか。	○		○		2

年間授業計画

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書： 高校数学 I（実教出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	3章：三角比 1節：三角比 【知識及び技能】 鋭角の場合についての正弦、余弦、正接の意味を理解し三角形の辺と角との間の基本的な関係として平面図形の計量などに活用できること。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察すること。	・指導事項 1 三角形 2 三角比 3 三角比の利用 4 三角比の相互関係 2節 三角比の応用 1 三角比の拡張 ・教材 教科書、問題集 プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 サイン・コサイン・タンジェントの意味を理解し鋭角の三角比の相互関係について理解できる。鋭角の三角比を用いて鈍角の三角比を求めることができる。 【思考・判断・表現】 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、三角形の辺と角との間の関係や平面図形の計量などに活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比を身近な事象とも関連付けてそれらの意味を理解でき、その有用性を認識することができる。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	2節三角比の応用 1章：数と式 1節 整式 【知識及び技能】 三角比を鈍角まで拡張した意義を理解し、正弦定理、余弦定理について正しく理解する。 文字を用いた計算について理解を深め、整式の加法・乗法について理解を深める。 【思考・判断・表現】 三角比の相互関係を用いて残りの三角比を求める計算を理解し、正弦定理や余弦定理への理解を深める。また、因数分解への理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の面積を求めたり、空間図形の考察に活用できるようにする。 因数分解を効率に行うための工夫や着眼点を考える。	・指導事項 2節：三角比への応用 2 三角形の面積 3 正弦定理 4 余弦定理 5 正弦定理と余弦定理の利用 1章：数と式 1節 整式 1 文字を含んだ計算 2 整式 3 整式の加法減法 4 整式の乗法 5 乗法公式による展開 6 因数分解 ・教材 教科書、問題集 プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 三角比を鈍角まで拡張した意義を理解し、正弦定理、余弦定理を活用し辺の長さや角の大きさを求めることができる。 多項式を理解し、乗法公式や因数分解の公式が活用できる。 【思考・判断・表現】 1つの三角比の値から残りの三角比を相互関係を利用してもとめることができる。 同類項をまとめ、かっこを外したりと整式の加法減法を考察できる。文字の置き換えなどを工夫して多面的にとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の展開や因数分解に関心を持ち、目的に応じて式を変形することができる。 数の計算に乗法公式などが活用できることに関心を持ち、公式の活用をしようとする。	○	○	○	29
定期考査				○	○		1

2 学 期	<p>1章：数と式 2節：実数</p> <p>【知識及び技能】 数を拡張することの意義を理解し実数の疑念や平方根を含む計算の基本を理解できる。不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p>	<p>・指導事項 2節 実数 1 平方根とその計算 2 実数 3節 方程式と不等式 1 1次方程式 2 不等式 3 不等式の性質 4 1次不等式 5 連立不等式 6 不等式の応用</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 数を実数まで拡張することの意義を理解し、$\sqrt{\quad}$を含む計算ができる。また、分母の有理化ができる。数字の分類ができる。 不等式で数量の計量を表すことができる。1次不等式や連立不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 分数が有限小数や循環小数で表されることを理解し、問題を解決する際に、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的の応じて適切に変形したりすることができる。 不等式の性質と方程式の性質を対比して、不等式を解くことを考察できる。日常生活の事象などを数学的にとらえ、活用できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。</p>	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>2章 2次関数 1節 関数とグラフ 2節 2次関数の値の変化</p> <p>【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】 2次関数の式とグラフの関係について、コンピュータを用いてグラフを書くなどして多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2次関数を利用した数学的活動を通して、その有用性を認識すること。</p>	<p>・指導事項 1節 関数とグラフ 1 1次関数とそのグラフ 2 2次関数とそのグラフ 2節 2次関数の値の変化 1 2次関数の最大値・最小値 2 2次関数のグラフと方程式 3 2次関数のグラフと2次方程式</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 2次関数のグラフから2次方程式の解を導くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、また、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p>	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>4章 集合と論証 1節 集合と論証</p> <p>5章 データの分析 1節 データの分析</p> <p>【知識及び技能】 集合における基本的な概念を理解する。命題に関する基本的な概念を理解し、基本的な命題の証明ができるようにする。 統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できること。</p> <p>【思考・判断・表現】 集合と命題の関係を考察するとともに対偶を用いた証明もできるようにする。 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 集合で表されることを見つけ、積極的に活用を図る姿勢を作る。身の回りのいろいろなデータを集め、適切なグラフで表したり、考察した意見を述べるなどの数学的活動を通して、その有用性を認識すること。</p>	<p>4章 集合と論証 1節 集合と論証 1 集合と要素 2 命題 3 いろいろな証明法</p> <p>5章 データの分析 1節 データの分析</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 集合に関する基本的な概念が理解できる。和集合・共通部分を求めることができる。命題における基本的な概念を理解し、必要十分について理解をする。命題の逆・対偶を理解できる。 与えられたデータを適切に表すことができる。代表値・四分位範囲、分散といった用語</p> <p>【思考・判断・表現】 集合と命題の関係を考察できる。対偶などを利用して簡単な命題を証明することができる。 データの散らばり具合を数値化することができる。具体的なデータを元に表を活用するなどして相関関係を求める方法を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事象を集合を用いて表すことを理解しようとしている。身の回りの話題から、命題を考察して必要条件や十分条件を積極的に調べる。 身の回りのいろいろなデータを探し、代表値や散らばりを調べてデータの分析をしようとしている。</p>	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
						合計	140

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 5 組～ 6 組

使用教科書： 高校数学 I（実教出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	3章：三角比 1節：三角比 【知識及び技能】 鋭角の場合についての正弦、余弦、正接の意味を理解し三角形の辺と角との間の基本的な関係として平面図形の計量などに活用できること。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察すること。	・指導事項 1 三角形 2 三角比 3 三角比の利用 4 三角比の相互関係 2節 三角比の応用 1 三角比の拡張 ・教材 教科書、問題集 プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 サイン・コサイン・タンジェントの意味を理解し鋭角の三角比の相互関係について理解できる。鋭角の三角比を用いて鈍角の三角比を求めることができる。 【思考・判断・表現】 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、三角形の辺と角との間の関係や平面図形の計量などに活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比を身近な事象とも関連付けてそれらの意味を理解でき、その有用性を認識することができる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	2節三角比の応用 1章：数と式 1節 整式 【知識及び技能】 三角比を鈍角まで拡張した意義を理解し、正弦定理、余弦定理について正しく理解する。 文字を用いた計算について理解を深め、整式の加法・乗法について理解を深める。 【思考・判断・表現】 三角比の相互関係を用いて残りの三角比を求める計算を理解し、正弦定理や余弦定理への理解を深める。 また、因数分解への理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の面積を求めたり、空間図形の考察に活用できるようにする。 因数分解を効率に行うための工夫や着眼点を考える。	・指導事項 2節：三角比への応用 2 三角形の面積 3 正弦定理 4 余弦定理 5 正弦定理と余弦定理の利用 1章：数と式 1節 整式 1 文字を含んだ計算 2 整式 3 整式の加法減法 4 整式の乗法 5 乗法公式による展開 6 因数分解 ・教材 教科書、問題集 プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 三角比を鈍角まで拡張した意義を理解し、正弦定理、余弦定理を活用し辺の長さや角の大きさを求めることができる。 多項式を理解し、乗法公式や因数分解の公式が活用できる。 【思考・判断・表現】 1つの三角比の値から残りの三角比を相互関係を利用してもとめることができる。 同類項をまとめ、かっこを外したりと整式の加法減法を考察できる。文字の置き換えなどを工夫して多面的にとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の展開や因数分解に関心を持ち、目的に応じて式を変形することができる。 数の計算に乗法公式などが活用できることに関心を持ち、公式の活用をしようとする。	○	○	○	21
定期考査				○	○		1

2 学 期	<p>1章：数と式 2節：実数</p> <p>【知識及び技能】 数を拡張することの意義を理解し実数の疑念や平方根を含む計算の基本を理解できる。不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p>	<p>・指導事項 2節 実数 1 平方根とその計算 2 実数 3節 方程式と不等式 1 1次方程式 2 不等式 3 不等式の性質 4 1次不等式 5 連立不等式 6 不等式の応用</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 数を実数まで拡張することの意義を理解し、$\sqrt{\quad}$を含む計算ができる。また、分母の有理化ができる。数字の分類ができる。 不等式で数量の計量を表すことができる。1次不等式や連立不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 分数が有限小数や循環小数で表されることを理解し、問題を解決する際に、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的の応じて適切に変形したりすることができる。 不等式の性質と方程式の性質を対比して、不等式を解くことを考察できる。日常生活の事象などを数学的にとらえ、活用できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。</p>	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>2章 2次関数 1節 関数とグラフ 2節 2次関数の値の変化</p> <p>【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】 2次関数の式とグラフの関係について、コンピュータを用いてグラフを書くなどして多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2次関数を利用した数学的活動を通して、その有用性を認識すること。</p>	<p>・指導事項 1節 関数とグラフ 1 1次関数とそのグラフ 2 2次関数とそのグラフ 2節 2次関数の値の変化 1 2次関数の最大値・最小値 2 2次関数のグラフと方程式 3 2次関数のグラフと2次方程式</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 2次関数のグラフから2次方程式の解を導くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、また、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>4章 集合と論証 1節 集合と論証</p> <p>5章 データの分析 1節 データの分析</p> <p>【知識及び技能】 集合における基本的な概念を理解する。命題に関する基本的な概念を理解し、基本的な命題の証明ができるようにする。 統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できること。</p> <p>【思考・判断・表現】 集合と命題の関係を考察するとともに対偶を用いた証明もできるようにする。 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 集合で表されることを見つけ、積極的に活用を図る姿勢を作る。身の回りのいろいろなデータを集め、適切なグラフで表したり、考察した意見を述べるなどの数学的活動を通して、その有用性を認識すること。</p>	<p>4章 集合と論証 1節 集合と論証 1 集合と要素 2 命題 3 いろいろな証明法</p> <p>5章 データの分析 1節 データの分析</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 集合に関する基本的な概念が理解できる。和集合・共通部分を求めることができる。命題における基本的な概念を理解し、必要十分について理解をする。命題の逆・対偶を理解できる。 与えられたデータを適切に表すことができる。代表値・四分位範囲、分散といった用語</p> <p>【思考・判断・表現】 集合と命題の関係を考察できる。対偶などを利用して簡単な命題を証明することができる。 データの散らばり具合を数値化することができる。具体的なデータを元に表を活用するなどして相関関係を求める方法を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事象を集合を用いて表すことを理解しようとしている。身の回りの話題から、命題を考察して必要条件や十分条件を積極的に調べる。 身の回りのいろいろなデータを探し、代表値や散らばりを調べてデータの分析をしようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
						合計	105

野津田 高等学校令和6年度（1学年用）教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：高等学校 新生物基礎（第一学習社）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の味方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに必要な技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標： 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。	生物や生物現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身につける。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 【知識及び技能】 多種多様な生物が生息し、生物は多様であることを理解する。 原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。 顕微鏡の扱い方を習得する。 【思考力・判断力・表現力等】 すべての生物にみられる特徴について説明する。 観察結果をレポートなどにまとめる。 観察結果をレポートなどにまとめ、他の人に説明できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 すべての生物のからだは細胞からなることを見出そうとする姿勢を持つ。	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 ①生物にみられる共通性 実験 顕微鏡の使い方 ②生物の共通性の由来 ③細胞構造の共通性 実験 細胞の観察	【知識及び技能】 多種多様な生物が生息し、生物は多様であることを理解している。 原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解している。 顕微鏡の正しい扱い方を習得している。 【思考力・判断力・表現力等】 すべての生物にみられる特徴について説明できる。 観察結果をレポートなどにまとめられる。 観察結果をレポートなどにまとめ、他の人に説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 すべての生物のからだは細胞からなることを見出そうとする姿勢が見られる。	○	○	○	6
	2. 生物とエネルギー 【知識及び技能】 生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 代謝には同化と異化があり、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関与していることを理解する。 酵素の基本的な特徴を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 代謝とは何か説明する。 実験を通して酵素の特徴をとらえる。 【学びに向かう力・人間性等】 実験に主体的に参加する。 生命活動にはエネルギーが必要であることを積極的に読み取る。	第2章 遺伝子とその働き ①染色体・DNA・遺伝子 実験 DNAの抽出 ②DNAの構造 ③DNAの複製 実験 アルコール代謝の遺伝形質を調べる 教材 教科書、ワーク、プリント	【知識及び技能】 生命活動にエネルギーが必要であることを理解している。 代謝には同化と異化があり、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関与していることを理解している。 酵素の基本的な特徴を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 代謝とは何か説明できる。 実験を通して酵素の特徴をとらえられる。 【学びに向かう力・人間性等】 実験に主体的に参加している。 生命活動にはエネルギーが必要であることを積極的に読み取ることができる。	○	○	○	6
	中間考査			○	○		1
	第2章 遺伝子とその働き 【知識及び技能】 遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 転写・翻訳の流れを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 遺伝子とDNAと染色体の関係を説明する。 細胞分裂の各段階から核時期の特徴をあげる。 【学びに向かう力・人間性等】 実験に主体的に参加する。 遺伝子が自分の体内でどのように働いているか積極的に考える。		【知識及び技能】 遺伝子とDNAと染色体の関係について理解している。 細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解している。 転写・翻訳の流れを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 遺伝子とDNAと染色体の関係を説明できる。 細胞分裂の各段階から核時期の特徴をあげられる。 【学びに向かう力・人間性等】 実験に主体的に参加している。 遺伝子が自分の体内でどのように働いているか積極的に考えている。	○	○	○	12
期末考査			○	○		1	
第3章 ヒトの体の調節 1. からだの調節と情報の伝達 【知識及び技能】	第3章 ヒトの体の調節 1. からだの調節と情報の伝達 ①恒常性と情報の伝達	【知識及び技能】 体液の3種類について理解している。 神経系の構造と働きについて理解している。					

<p>体液の3種類について理解する。 神経系の構造と働きについて理解する。 体内環境の調節には自律神経系と内分泌系が関与していることを理解する。 免疫のしくみについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】</p>	<p>②神経系 ニワトリの脳の観察 ③自律神経系の働き ④ホルモンの働き ⑤血糖濃度の調節 ⑥体温の調節 ⑦からだの調節と血液の働き</p>	<p>体内環境の調節には自律神経系と内分泌系が関与していることを理解している。 免疫のしくみについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ニワトリの脳の観察を通して脊椎動物の脳の特徴を説明できる。 自律神経が働くと体にどんな変化が起きるか表現できる。</p>	○	○	○	14
---	--	---	---	---	---	----

年間授業計画

野津田 高等学校令和6年度(1学年用) 教科 英語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科: 英語 科目: 英語コミュニケーションⅠ 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書: All Aboard! English Communication I

教科 英語 の目標:

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識・技能】 be動詞、一般動詞、過去形の特徴やきまりなどを理解する。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的话题などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的话题などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとする。</p>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> Pre-Lesson1 My Name is Ito Neko. be動詞 Pre-Lesson2 I Like Junk Food! 一般動詞 Lesson1 Breakfast around the World 過去形 <p>○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末</p> <p>○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物</p>	<p>【知識・技能】 be動詞、一般動詞、過去形の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的话题などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的话题などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1
<p>【知識・技能】 進行形、助動詞、to不定詞の特徴やきまりなどを理解する。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的话题などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的话题などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとする。</p>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> Lesson2 Australia's Cute Quokkas 進行形 Lesson3 A Train Driver in Sanriku 助動詞 Lesson4 A Miracle Mirror to不定詞 <p>○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末</p> <p>○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物</p>	<p>【知識・技能】 進行形、助動詞、to不定詞の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的话题などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的话题などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>	○	○	○	21
定期考査			○	○		1

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 英語 科目 論理表現Ⅰ

教科：英語 科目：論理表現Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：Harmony（いいずな書店）

教科 英語 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に着けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社旗的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。

科目 論理表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の基本的な語句や文を理解し、日常的な話題などについて意見を述べたり、賛成反対の意見を根拠を示しながら伝え合うことができる。	自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、事例や根拠を示しながら説明することができる。また社会的な話題について背景知識を活用しながら自分の考えを述べたり相手の考えを引き出したりすることができる。	自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように様々な表現を用いるなどの工夫をして伝え合おうとしている。また、相手の意見に応じて自分の考えを示しながらよりよいやり取りになるよう努めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1st Zone 自分のことや身近な人のことを話す Lesson 1 自分のことを話す・相手のことをたずねる Lesson 2 休日にしたことを説明する Lesson 3 自分の予定を話す・相手の予定をたずねる Lesson 4 したことがあること・ないことについて話す 【知識及び技能】 現在・過去・未来の表し方や完了形を使った表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の発言に合わせ相槌を打つ、事実と意見を織り交ぜて話す、疑問詞を使って尋ねる、会話のきっかけを作るなどの表現を身に着ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を相手に伝えたり、相手の言いたいことを確かめながら聞いたりすることでよりよいやり取りになるよう工夫する。	・指導事項 Lesson 1 現在の状態や動作の表現 Lesson 2 過去の状態や動作の表現 Lesson 3 未来を表す表現 Lesson 4 現在完了形を用いた表現 ・教材 教科書・ワークブック・補充プリント ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 現在・過去・未来の表し方や完了形を使って身近な話題について英語でやり取りできる。 【思考・判断・表現】 相手の発言に合わせ相槌を打つ、事実と意見を織り交ぜて話す、疑問詞を使って尋ねる、会話のきっかけを作るなどして英語でやり取りができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の意見を相手に伝えたり、相手の言いたいことを確かめながら聞いたりすることでよりよいやり取りになるよう工夫して英語でやり取りできる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	2nd Zone 日々の生活のことを話す Lesson 5 してもよいこと・してはいけないことを伝える Lesson 6 ある出来事について推測する Lesson 7 さまざまなものを紹介する 【知識及び技能】 許可・禁止・推測を表す助動詞の表現や受動態を用いた「～される」の表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 謝罪や相手の具合を尋ねる、聞き返すなどの表現を身に着ける。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の発言内容を確認したり聞き返したりしながらよりよいやり取りになるよう工夫する。	・指導事項 Lesson 5 「～できる」「～すべきだ」と伝える表現、「～してくださいませんか」と依頼する表現 Lesson 6 「～かもしれない」「～がいない」「～すべきだった」などと推測する表現 Lesson 7 「～される、された」と伝える表現 ・教材 教科書・ワークブック・補充プリント ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 許可・禁止・推測を表す助動詞の表現や受動態を用いた「～される」の表現を使って日々の生活のことについて英語でやり取りできる。 【思考・判断・表現】 謝罪や相手の具合を尋ねる、聞き返すなどして相手の意見や発言に応じて英語でやり取りができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手の発言内容を確認したり聞き返したりしながらよりよいやり取りになるよう工夫して英語でやり取りできる。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
	3rd Zone したいことやしているこ	・指導事項	【知識・技能】				

年間授業計画

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：現代高等保健体育（大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>1. 現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>指導項目・内容 (ア) 健康の考え方 (イ) 現代の感染症とその予防</p> <p>使用教材 ・教科書、各種資料</p> <p>○ICT機器の活用、1人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できる力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする力を身に付けている。</p>	○	○	○	10
<p>1. 現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>指導項目・内容 (ウ) 生活習慣病の予防と回復 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</p> <p>使用教材 ・教科書、各種資料</p> <p>○ICT機器の活用、1人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できる力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする力を身に付けている。</p>	○	○	○	13
<p>1. 現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>指導項目・内容 (オ) 精神疾患の予防と回復</p> <p>使用教材 ・教科書、各種資料</p> <p>○ICT機器の活用、1人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できる力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする力を身に付けている。</p>	○	○	○	9
						1
						合計
						35

年間授業計画

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 スポーツV

教科：保健体育

科目：スポーツV

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 6組～ 組

使用教科書：

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツV

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期							
2 学 期							
3 学 期	<p>【知識及び技能】 自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。</p>	<p>指導項目・内容 競技型の野外運動への多様な関わり方 ・スキー</p> <p>※本科目は特期集中講座である。</p>	<p>【知識及び技能】 自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を身に付けている。</p>	○	○	○	<p>実習 3日間</p> <p>事前指導 30時間</p> <p>事後指導 16時間</p> <p>合計 70</p>

年間授業計画

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 スポーツ概論

教科：保健体育

科目：スポーツ概論

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 6組～ 組

使用教科書：基礎から学ぶスポーツ概論 改訂版

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツ概論

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	【指導項目】 ・スポーツの文化的特性や現代におけるスポーツの発展 【使用教材】 ・教科書、各種資料 ICT機器の活用、1人一台端末の活用		○	○	○	10
		定期考査	【知識及び技能】 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けている。	○	○	○	1
2 学期	【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養う。	【指導項目】 ・スポーツの文化的特性や現代におけるスポーツの発展 ・スポーツの効果的な学習の仕方 【使用教材】 ・教科書、各種資料 ICT機器の活用、1人一台端末の活用	【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けている。	○	○	○	13
		定期考査	【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	1
3 学期		【指導項目】 ・スポーツの効果的な学習の仕方 【使用教材】 ・教科書、各種資料 ICT機器の活用、1人一台端末の活用		○	○	○	9
		定期考査		○	○	○	1
				○	○	○	合計 35

年間授業計画

野津田 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： MOUSAI (教育芸術社)

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
<p>○楽典</p> <p>【知識及び技能】 音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号を表現に使うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢を養う。</p>	<p>○楽典</p> <p>・ 音符、音名について</p> <p>・ 臨時記号、調号について</p>	<p>【知識及び技能】 ワークブックや問題演習を通じ音符、休符、音名、臨時記号、調号について理解できているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ワークブックや問題演習を通じ音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号を表現に使うことができているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。</p>	○	○	○	5
<p>○歌唱</p> <p>【知識及び技能】 伸びやかな発声で歌唱する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 曲調や歌詞を理解し歌唱表現ができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に学ぼうとする姿勢を養う。</p>	<p>○歌唱</p> <p>・ 校歌</p>	<p>【知識及び技能】 実技テストにより伸びやかな発声で歌唱できているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実技テストにより曲調や歌詞を理解し歌唱表現ができているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。</p>	○	○	○	6
<p>○ギター</p> <p>【知識及び技能】 コードネーム、TAB譜の学習とともにギターの基本奏法を学ぶ</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 曲調に合わせ工夫しながら表現する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ギターに興味を持ち技術を向上させようという姿勢を養う。</p>	<p>○ギター</p> <p>・ 歓喜の歌</p> <p>・ 第三の男のテーマ</p>	<p>【知識及び技能】 進度表により基本的なギターの演奏技術がついているか</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 進度表により演奏の工夫があるか</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ギターに興味を持ち技術を向上させようという姿勢が見られるか。</p>	○	○	○	10
<p>○鑑賞</p> <p>【知識及び技能】 音楽を形作っている諸要素について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている諸要素から楽曲について表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に鑑賞しようとする姿勢を養う。</p>	<p>○鑑賞</p> <p>・ 音楽を形作っている諸要素について学ぶ</p>	<p>【知識及び技能】 ワークシートを通じ音楽を形作っている諸要素について理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ワークシートを通じ音楽を形作っている諸要素から楽曲について表現しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に鑑賞しようとする姿勢が見られるか。</p>	○	○	○	4
<p>○楽典</p> <p>【知識及び技能】 音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号を表現に使うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢を養う。</p>	<p>○楽典</p>	<p>【知識及び技能】 ワークブックや問題演習を通じ音符、休符、音名、臨時記号、調号について理解できているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ワークブックや問題演習を通じ音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号を表現に使うことができているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。</p>	○	○	○	4
<p>○歌唱</p> <p>【知識及び技能】 伸びやかな発声で歌唱する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 曲調や歌詞を理解し歌唱表現ができるようにする。</p>	<p>○歌唱</p> <p>・ 遠い日の歌</p>	<p>【知識及び技能】 実技テストにより伸びやかな発声で歌唱できているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実技テストにより曲調や歌詞を理解し歌唱表現ができるようにする。</p>	○	○	○	4

年間授業計画

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術

教科： 芸術 科目： 美術 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 2 組・ 3 組～ 4 組・ 5 組～ 6 組

使用教科書： 光村 美術 1

教科 芸術 の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたって美術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 鉛筆の性質やタッチの付け方と効果について理解する 【思考・判断・表現】 光と影の関係について理解し、平面上で表せる 【学びに向かう力・人間性】 主体的に鉛筆を使った表現活動に取り組み姿勢を養う</p>	<p>■ 絵画：素描道具の使い方 ・素描道具の特性 ・対物を使用した鉛筆の削り方、練り消しゴムの使用方法等 ・グラデーション表の作成 ・幾何形体のデッサン：陰影のつけ方の確認</p>	<p>【知識及び技能】 鉛筆の性質やタッチの付け方と効果について理解しているか 【思考・判断・表現】 光と影の関係について理解し、平面上で表せているか 【学びに向かう力・人間性】 主体的に鉛筆を使った表現活動に取り組みもうとしている</p>	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】 形や色、質感などの表現を工夫し、創造的に表す 【思考・判断・表現】 主題を見つめ感じ取った特徴や思いをもとに、構図や道具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る 【学びに向かう力・人間性】 主体的に鉛筆を使った表現活動に取り組み姿勢を養う</p>	<p>■ 絵画：体育館履き素描 ・指定の画用紙に鉛筆で体育館履きのデッサンを行う ・自分の作品のプレゼンテーションと他者作品の鑑賞</p>	<p>【知識及び技能】 形や色、質感などの表現を工夫し、創造的に表しているか 【思考・判断・表現】 構図や鉛筆の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている 【学びに向かう力・人間性】 主体的に鉛筆を使った表現活動に取り組みもうとしている</p>	○	○	○	12
<p>【知識及び技能】 色が感情にもたらす効果や、絵具の特性を理解して表現する 【思考・判断・表現】 アクリル絵具の具の特性や表現のよさ・美しさを感じ取り、見方を感じ方を深めている 【学びに向かう力・人間性】 主体的にアクリル絵具の具ならではの効果を追求し、表現の創造活動に取り組み姿勢を養う</p>	<p>■ デザイン：色についての学習 ・色相、彩度、明度について理解する ・アクリル絵具の具を用いて、平塗りの練習、混色の練習、色相環の作成</p>	<p>【知識及び技能】 色が感情にもたらす効果や、絵具の特性を理解して表現できているか 【思考・判断・表現】 アクリル絵具の具の特性や表現のよさ・美しさを感じ取り、見方を感じ方を深めている 【学びに向かう力・人間性】 主体的にアクリル絵具の具ならではの効果を追求し、表現の創造活動に取り組みもうとしている</p>	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】 写実の明暗をもとに、色彩の明度や彩度を考えて着彩し、全体のイメージで作品を捉えることを理解する 【思考・判断・表現】 形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている 【学びに向かう力・人間性】 主体的に色彩分割作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、創造活動に取り組みもうとしている</p>	<p>■ デザイン：色面分割 ・アクリル絵具の具で、寒色と暖色のグラデーション表をそれぞれ作成する ・人物の写実とトレースする ・人物の顔写実をもとに、着彩する ・自分の作品のプレゼンテーションと他者作品の鑑賞</p>	<p>【知識及び技能】 写実の明暗をもとに、色彩の明度や彩度を考えて着彩し、全体のイメージで作品を捉えることを理解している 【思考・判断・表現】 形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている 【学びに向かう力・人間性】 主体的にアクリル絵具の具ならではの効果を追求し、表現の創造活動に取り組みもうとしている</p>	○	○	○	14
<p>【知識・技能】 ピカソの生涯などから、作品を作風でとらえることを理解する 【思考・判断・表現】 作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、その生涯や心情と創造的な表現の工夫などについて考え、見方を感じ方を深める 【学びに向かう力・人間性】 主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その生涯や心情と作品の関係などについて考える鑑賞の創造活動に取り組み姿勢を養う</p>	<p>■ 絵画・彫刻鑑賞：パブロ・ピカソ ・ピカソの生涯、作品について鑑賞する ・感じたことや気づいたこと、調べて分かったことなどを話し合う</p>	<p>【知識・技能】 ピカソの生涯などから、作品を作風でとらえることを理解している 【思考・判断・表現】 作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、その生涯や心情と創造的な表現の工夫などについて考え、見方を感じ方を深めている 【学びに向かう力・人間性】 主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その生涯や心情と作品の関係などについて考える鑑賞の創造活動に取り組みもうとしている</p>	○	○	○	2
<p>【知識・技能】 伝えたい情報を整理し、印象に残るシンボルマークをデザインする 【思考・判断・表現】 単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練る 【学びに向かう力・人間性】 主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に取り組み態度を養う</p>	<p>■ デザイン：ステッカー制作 ・自分のイニシャルをもとに図案を考えアイデアスケッチを行う ・個人端末を使用し、アイデアスケッチをもとにステッカーを制作する</p>	<p>【知識・技能】 伝えたい情報を整理し、印象に残るシンボルマークをデザインできているか 【思考・判断・表現】 単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っているか 【学びに向かう力・人間性】 主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に取り組みもうとしている</p>	○	○	○	8
<p>【知識・技能】 道具を正しく使い、材料や造形的な特徴などを生かして作品を制作する 【思考・判断・表現】 意図に応じて材料や用具の特性を生かして工夫して、創造的にレリーフ制作を行っている 【学びに向かう力・人間性】 主体的に制作を通して感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造活動に取り組み態度を養う</p>	<p>■ 彫刻：木彫サインボード制作 ・木彫の道具や素材について確認し、設計図を作る ・木材の切断・彫刻・やすりがけ ・塗装 ・自分の作品のプレゼンテーションと他者作品の鑑賞</p>	<p>【知識・技能】 道具を正しく使い、材料や造形的な特徴などを生かして作品を制作しているか 【思考・判断・表現】 意図に応じて材料や用具の特性を生かして工夫して、創造的にレリーフ制作を行っているか 【学びに向かう力・人間性】 主体的に制作を通して感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造活動に取り組みもうとしている</p>	○	○	○	16
<p>【知識・技能】 映像技法の効果や特徴などをもとに、映像作品を全体のイメージや作風などで捉えることを理解する 【思考・判断・表現】 映像作品を細部まで鑑賞し、表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方を感じ方を深める 【学びに向かう力・人間性】 主体的に作品を細部まで鑑賞し、映像表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組み態度を養う</p>	<p>■ 映像メディア鑑賞：映像・アニメーション ・映像制作手法や技法による印象の違いやアニメーションならではの表現を理解する ・作品をみて絵コンテを描き起こしなどから細部まで鑑賞し、形や色、構図や技法などをとらえて表現の意図や工夫を感じ取る</p>	<p>【知識・技能】 映像技法の効果や特徴などをもとに、映像作品を全体のイメージや作風などで捉えることを理解している 【思考・判断・表現】 映像作品を細部まで鑑賞し、表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方を感じ方を深めている 【学びに向かう力・人間性】 主体的に作品を細部まで鑑賞し、映像表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組みもうとしている</p>	○	○	○	6
合計						70

年間授業計画

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

情報 科目 情報 I

教科： 情報

科目： 情報 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： 東京書籍 新編 情報 I

教科 情報

の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】 情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けさせる。

科目 情報 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報やメディア、デジタル技術や情報社会と人との関わりに関する基本的な事項を理解するとともに、効果的なコミュニケーションやデータを活用するための基本的な技能を習得させる。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて、必要な情報技術やメディア、処理手順等を選択・活用し、適切な形で表現できるようにする。	コンピュータを用いた問題解決の面白さや有用性を認識させ、周囲と協調しながら、情報と情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 コンピュータの基本知識 【知識及び技能】 コンピュータの基本知識を理解させる。 PCの基本操作と文書作成を習得させる。 【思考力・判断力・表現力等】 オンライン学習を行うことができる。 学習結果を保存し、提出できる。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な端末に積極的に触れさせる。 自己のITスキルを自覚した作業をさせる。	1 コンピュータの基本操作 Call教室の基本的な利用法 グループウェアの使い方 2 デジタル端末の使い方 一人一台端末の基本的な設定 ネットワークへの接続 デジタル教材の使い方 3 基本知識の理解 ハードウェアとソフトウェア インターネットとネットワーク 情報セキュリティ	【知識及び技能】 コンピュータの基本知識について理解している。 Call教室のPCの基本操作が身についている。 一人一台端末の基本操作が身についている。 【思考力・判断力・表現力等】 デジタル教材を利用した課題に取り組める。 指示されたオンライン上の課題に対応できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの操作を積極的に行おうとしている。 他人にアドバイスを求め、自らの技術に吸収できる。	○	○	○	5
	2 情報社会の問題解決① 【知識及び技能】 情報の特性やメディアについて理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 情報伝達の手段を選択し、実践させる。 情報をもとに考えを述べる作業をさせる。 【学びに向かう力・人間性等】 情報伝達の意義と、達成感を感じさせる。 情報整理の意義と、達成感を感じさせる。	1 情報とメディア 情報の定義、情報の特性 2 コミュニケーションの歴史 メディアの定義と歴史 3 情報伝達の工夫 音だけで情報を伝えるには？ 表情の大切さを考える。 4 発想法 ブレインストーミング K J法による分類	【知識及び技能】 情報やコミュニケーションの特性を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 コミュニケーションの特性と踏まえた伝達ができる。 情報を結びつけ、結論を出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 周囲と協力し、情報伝達を工夫することができる。 周囲と協力し、情報を整理することができる。	○	○	○	7
	3 情報社会の問題解決② 【知識及び技能】 情報社会の様々な問題を認識させる。 情報技術が与える社会的影響を学ばせる。 【思考力・判断力・表現力等】 情報社会の問題を、比較して検討させる。 情報技術について深く調べ、まとめさせる。 【学びに向かう力・人間性等】 日常生活の身近な問題として認識させる。 調べたことに対し、主体的にまとめさせる。	1 情報モラル SNSの特性とコミュニケーション テクノストレス セキュリティ事故の防止 著作権と引用 2 情報技術の発展 Society5.0とはどんな政策か。 トレードオフ	【知識及び技能】 情報社会の特性や法的な側面を理解している。 Society5.0に基づく様々な情報技術を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 情報社会の諸問題の原因と解決策を考察できる。 調べた内容をまとめ、適切な形で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活で起こっている問題として認識している。 主体的・積極的に調べ学習に参加し、成果を上げている。	○	○	○	7
	4 情報デザイン 【知識及び技能】 情報デザインの3要素を理解させる。 図やWebを編集する技術を身につけさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 目的や相手に応じた編集を考えさせる。 適切な図を選択し、図解表現をさせる。 【学びに向かう力・人間性等】 他者と積極的に意見交換し、よりよい 情報デザインのアイデアを得ようとする。	1 プレゼンテーションソフトウェア スライド作成練習 図解の作成練習 2 文書デザイン SmartArtの活用 ピクトグラムの作成 ユニバーサルデザイン	【知識及び技能】 プレゼンソフトの技術を身につけている。 情報デザインやユニバーサルデザインについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 情報を整理し、適切な形で表現できる。 目的や相手に応じ、表現方法を工夫できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者と意見交換しながら、よりよいデザイン編集を 目指して作業し、振り返ることができる。	○	○	○	7
	5 期末考査	CBTによる実施		○	○		1

野津田 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科

福祉科 科目 社会福祉基礎

教科：福祉

科目：社会福祉基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組

使用教科書：7 実教 福祉 701 社会福祉基礎

副教材：最新 介護福祉士養成講座 2 社会の理解

教科 福祉

の目標：福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 社会福祉基礎

の目標：現代社会における社会福祉の意義や役割を理解するとともに関連する技術を身に付け、社会福祉の向上と発展に担うために必要な資質・能力の育成する

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会福祉について体系的に・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	第1編：社会福祉の理念と意義 第1章：生活と福祉 【知識及び技術】 生活や自立の概念、日常生活と福祉について理解しているとともに、関連する技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 生活や自立の概念、日常生活と福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【学びに向かう力、人間性等】 生活と福祉について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	・指導事項 第1章 生活と福祉 少子高齢化と人口減少に向かう日本 産業と地域社会の変化 家族と働き方の変化 人の一生と社会福祉 ・教材 教科書、テキスト、 社会福祉小六法、プリント PC端末	【知識及び技術】 生活や自立の概念、日常生活と福祉から理解した内容を記入しているか 【思考力、判断力、表現力等】 生活や自立の概念、日常生活と福祉について考察した内容を記入しているか 【学びに向かう力、人間性等】 生活と福祉についてグループワークで話し合った内容をまとめ、発表しているか	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第1編：社会福祉の理念と意義 第2章：社会福祉の理念 【知識及び技術】 社会福祉の理念について理解しているとともに、関連する技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 社会福祉の理念に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【学びに向かう力、人間性等】 社会福祉の理念について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	・指導事項 第2章：社会福祉の理念 現代の福祉理念 日本国憲法と社会福祉 地域生活と社会福祉 ・教材 教科書、テキスト、 社会福祉小六法、プリント PC端末	【知識及び技術】 社会福祉の理念から理解した内容を記入しているか 【思考力、判断力、表現力等】 社会福祉の理念について考察した内容を記入しているか 【学びに向かう力、人間性等】 社会福祉の理念についてグループワークで話し合った内容をまとめ、他の人に説明できるか	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学 期	第1編：社会福祉の理念と意義 第3章：人間の尊厳と新たな福祉社会 【知識及び技術】 人間の尊厳と自立について理解しているとともに、関連する技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 人間の尊厳と自立に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【学びに向かう力、人間性等】 人間の尊厳と自立について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	・指導事項 第3章：人間の尊厳と新たな福祉社会の創造人間としての尊厳 自立生活支援 新たな福祉社会の構築に向けて ・教材 教科書、テキスト、 介護福祉用語辞典 社会福祉小六法、プリント PC端末	【知識及び技術】 人間の尊厳と自立から理解した内容を記入しているか 【思考力、判断力、表現力等】 人間の尊厳と自立について考察した内容を記入しているか 【学びに向かう力、人間性等】 人間の尊厳と自立についてグループワークで話し合った内容をまとめ、伝えることができるか	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第2編：社会福祉の歴史と次代の展望 第1章：諸外国における社会福祉 【知識及び技術】 諸外国における社会福祉について理解しているとともに、関連する技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 諸外国における社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【学びに向かう力、人間性等】 諸外国における社会福祉について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる	・指導事項 第1章：諸外国における社会福祉 社会福祉の歴史 イギリスにおける社会福祉の発展 アメリカにおける社会福祉の発展 北欧の社会福祉 ヨーロッパ大陸諸国福祉保障 ア ・教材 教科書、テキスト、 介護福祉用語辞典 社会福祉小六法、プリント PC端末	【知識及び技術】 諸外国における社会福祉から理解した内容を記入しているか 【思考力、判断力、表現力等】 諸外国における社会福祉について考察した内容を記入しているか 【学びに向かう力、人間性等】 諸外国における社会福祉についてグループワークで話し合った内容をまとめ、クラス全体に伝えられているか	○	○	○	16

諸外国における社会福祉について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる

|

||

|

|

|

||

定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>第2編：社会福祉の歴史と次代の展望</p> <p>第2章：日本における社会福祉</p> <p>【知識及び技術】 日本における社会福祉について理解しているとともに、関連する技術を身に付ける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本における社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本における社会福祉について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる</p>	<p>・指導事項</p> <p>第2章：日本における社会福祉 近代社会福祉の黎明期 社会事業の成立と発展 戦後厚生事業による福祉対策 戦後対策としての社会福祉の構築 高度経済成長期と社会保障・社会福祉の充実 新世紀に向けた福祉改革と介護保険制度の導入</p> <p>・教材 教科書、テキスト、 社会福祉小六法、プリント PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 日本における社会福祉から理解した内容を記入しているか</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本における社会福祉について考察した内容を記入しているか</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本における社会福祉についてグループワークで話し合った内容をまとめ、発表できているか</p>	○	○	○	11
	定期考査		○	○		1	
						合計	
						70	

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 福祉 科目 介護福祉基礎

教科：福祉 科目：介護福祉基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組

使用教科書：7 実教 福祉 7 0 2 社会福祉基礎 副教材：最新 介護福祉士養成講座 3 介護の基本 I

教科 福祉 の目標：福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

【知識及び技術】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 介護福祉基礎 の目標：介護の意義と役割を理解するとともに関連する技術を身に付け、地域における継続した生活の支援を担う職業人として必要な資質・能力を育成する

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な介護知識の習得のほか、現代の福祉課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解し、関連する技術を身につける。また、様々な資料から、介護福祉分野における課題を読み取り、現在の状況を知り介護実習の実践に繋げる。	介護に関する課題を発見し、職業人に求められている適切な倫理観を養い、科学的根拠に基づいた介護方法を身につけ、確かな創造力に基づいた介護実践する力を養う。	よりよい社会の実現（共生社会）に向けて、自己に求められている役割を理解すると共に、現代の諸課題を整理し主体的に解決しようとする態度を養う。福祉の見方・考え方を多面的に捉える力を養い協働的に取り組む力も身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 介護福祉とは ○介護の成り立ち 【知識及び技術】 専門職による「介護」が誕生した経緯を理解させる。 介護と看護の違いについて理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 「介護福祉士」の役割について説明させる。 「介護福祉士」という仕事が誕生した背景を説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護福祉士」の仕事について具体的なイメージを持つことができる。	・指導項目 第1章 介護福祉とは 介護の成り立ち 介護と看護の違い 介護が使われるようになった時期 介護問題への対応が始まるまでの社会福祉政策 ・教材 教科書、ワーク、プリント	介護の成り立ち 【知識及び技術】 専門職による「介護」が誕生した経緯を記入している。 介護と看護の違いについて記入している。 【思考力・判断力・表現力等】 「介護福祉士」の役割について考察する。 「介護福祉士」という仕事が誕生した背景を考察すること。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護福祉士」の仕事について具体的なイメージを相手に話すことができる。 老人福祉法が成立した背景を考え話することができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	○介護問題への対応が始まるまでの社会福祉政策 【知識及び技術】 戦前・戦後における介護問題への対応が始まるまでの社会福祉政策について理解する。 戦後、介護問題への対応が始まるまでの社会福祉政策について理解する。 老人福祉法が成立した背景について理解する。 老人福祉法による介護問題への対応方法について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 老人福祉法が成立した背景について説明させる。 福祉三法、福祉六法が成立した背景について説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護福祉士」という仕事が誕生した背景をイメージし、介護実習に繋げることができる。	・指導項目 介護問題への対応が始まるまでの社会福祉政策 ①血救規則、救護法、養老院 ②福祉三法、福祉六法 ③老人問題、国民年金、家庭奉仕員 ・教材 教科書、ワーク、プリント	介護問題への対応が始まるまでの社会福祉政策 【知識及び技術】 戦前・戦後における介護問題への対応が始まるまでの社会福祉政策について記入している。 老人福祉法が成立した背景について記入している。 【思考力・判断力・表現力等】 老人福祉法が成立した背景について考察する。 福祉三法、福祉六法が成立した背景について考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護福祉士」という仕事が誕生した背景をイメージし、介護福祉士の仕事内容を相手に話す。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学 期	第1章 介護福祉とは ○介護概念の変遷 【知識及び技術】 介護概念の変遷（1970年代～2000年代以降）の流れについて理解する。 介護保険制度が導入された背景について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 各年代であったことを調べて説明する。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護実習」で実習した施設について記入し実習内容をまとめ伝える。	・指導項目 介護概念の変遷 ①1970年代～2000年代以降の社会背景 ②介護保険 ・教材 教科書、ワーク、プリント	○介護概念の変遷 【知識及び技術】 介護概念の変遷（1970年代～2000年代以降）の流れについて記入している。 介護保険制度が導入された背景について記入している。 【思考力・判断力・表現力等】 各年代であったことを調べて考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護実習」で実習した施設について記入し実習内容をまとめ相手に伝える。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第1章 介護福祉とは ○介護福祉の基本理念	・指導項目 介護福祉の基本理念	第1章 介護福祉とは ○介護福祉の基本理念				

	<p>第2章介護福祉士を支える団体 ○介護福祉士の役割と機能 【知識及び技術】 ノーマライゼーション、QOLの意味について理解する。 高齢者虐待の現状について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 尊厳とはどういったことなのか説明する。 【学びに向かう力・人間性等】 高齢者虐待について事例を通して考え自分自身の考えをまとめる。</p>	<p>①ノーマライゼーション ②QOL ③高齢者虐待 ・教材 教科書、ワーク、プリント</p>	<p>第2章介護福祉士を支える団体 ○介護福祉士の役割と機能 【知識及び技術】 ノーマライゼーション、QOLの意味について記入する。 高齢者虐待の現状について記入する。 【思考力・判断力・表現力等】 尊厳とはどういったことなのか考える。 【学びに向かう力・人間性等】 高齢者虐待について事例を通して考え自分自身の考えをまとめ相手に伝える。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>第3章介護福祉士の倫理 ○介護福祉士の倫理 第4章自立支援の考え方 ○自立支援とは 【知識及び技術】 日本介護福祉士の倫理綱領の内容について理解する。 ICFのグラフと内容について理解する。 リハビリテーション職の職業について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 介護福祉士が求められる倫理観について考える。 【学びに向かう力・人間性等】 介護福祉士が対象となる方にとつ</p>	<p>・指導項目 介護福祉の基本理念 ①日本介護福祉士会倫理綱領 自立支援とは ②ICF ③リハビリテーション ・教材 教科書、ワーク、プリント</p>	<p>第3章介護福祉士の倫理 ○介護福祉士の倫理 第4章自立支援の考え方 ○自立支援とは 【知識及び技術】 日本介護福祉士の倫理綱領の内容を記入する。 ICFのグラフと内容について記入する。 リハビリテーション職の職務内容について記入する。 【思考力・判断力・表現力等】 介護福祉士が求められる倫理観を考える。 【学びに向かう力・人間性等】 介護福祉士が対象となる方にとってどういった存在であるべきか、自分自身の考えをまとめ相手に伝える。</p>				15

てどういった存在であるべきか、 自分自身の考えをまとめる。						
定期考査			○	○		1
						合計 70

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 福祉科 科目 生活支援技術

教科：福祉 科目：生活支援技術 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組

使用教科書：7 実教 福祉303 生活支援技術 副教材：最新 介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I

教科 福祉 の目標：福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

【知識及び技術】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 生活支援技術 の目標：サービス利用者主体の生活支援の在り方を理解するとともに関連する技術を身に付け、尊厳の保持や自立支援に根ざした継続的で豊かな生活支援に必要な資質・能力を育成する

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立生活の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技術】生活支援や環境の整備の重要性について教科書の記述から理解した内容を記入する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】生活支援や環境の整備について考察し、内容を記入する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】生活支援や環境の整備についてグループで話し合った内容をまとめて発表する。</p>	<p>・指導項目 私たちの暮らしと生活支援技術 生活支援の理解 自立に向けた生活支援技術 居住環境の整備</p> <p>・教材 教科書、テキスト、ワークシート、PC機器</p>	<p>【知識及び技術】生活支援や環境の整備から理解した内容をワークシートに記入する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】生活支援や環境の整備について考察した内容を記入する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】生活支援や環境の整備についてグループワークで話し合った内容をまとめ、発表する。</p>	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
<p>【知識及び技術】移動・移乗、体位変換の重要性について教科書の記述から理解した内容を記入する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】移動・移乗、体位変換について考察し、内容を記入する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】移動・移乗、体位変換についてグループで話し合った内容をまとめて、発表する。</p>	<p>・指導項目 移動・移乗、体位変換</p> <p>・教材 教科書、テキスト、ワークシート、PC機器</p>	<p>【知識及び技術】移動・移乗、体位変換から理解した内容をメモにとる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】移動・移乗、体位変換について考察した内容を実技で表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】移動・移乗、体位変換についてグループワークで話し合った内容をまとめ、共有し技術につなげる。</p>	○	○	○	14
定期考査			○	○		1
<p>【知識及び技術】移動・身じたくの重要性について教科書の記述から理解した内容を記入する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】移動・身じたくについて考察し、内容を記入する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】移動・身じたくについてグループで話し合った内容をまとめて、発表する。</p>	<p>・指導項目 車いすの介助 衣服の着脱</p> <p>・教材 教科書、テキスト、ワークシート、PC機器</p>	<p>【知識及び技術】移動・身じたくから理解した内容を記入する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】移動・身じたくの方法について適切な判断をし、ワークシートに記入する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】移動・身じたくについてグループで共有しその内容を実践にうつす。</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
<p>【知識及び技術】身じたくの重要性について教科書の記述から理解した内容を記入する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】身じたくについて考察し、内容を記入する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】身じたくについてグループで話し合った内容をまとめて、発表する。</p>	<p>・指導項目 衣服の着脱</p> <p>・教材 教科書、テキスト、ワークシート、PC機器</p>	<p>【知識及び技術】自身の身じたくに置き換え、適切な方法を理解し記入する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】身じたくについて考察した内容を記入する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】身じたくについてグループワークで話し合った内容をまとめて、発表を通して共有する。</p>	○	○	○	14
定期考査			○	○		1
<p>【知識及び技術】歩行の重要性について教科書の記述から理解した内容を記入する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】歩行について考察し、内容を記入する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】歩行についてグループで話し合った内容をまとめて発表する。</p>	<p>・指導項目 歩行介助 移動に用いられる福祉用具</p> <p>・教材 教科書、テキスト、ワークシート、PC機器</p>	<p>【知識及び技術】歩行から理解した内容をワークシートに適切に記入する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】歩行についてサービス利用者の状況を踏まえながら考察し、内容を記入し表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】歩行について実践の中で得た考えに対し、グループで話し合い、他者の意見を取り入れな</p>	○	○	○	13

	定期考査				○	○		1
								合計
								70

野津田 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科

福祉科 科目 ころとからだの理解

教科：福祉

科目：ころとからだの理解

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組

使用教科書：

7 美教 福祉 304 ころとからだの理解

副教材：最新 介護福祉士養成講座 11 ころとからだのしくみ

教科 福祉

の目標：福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

【知識及び技術】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 ころとからだの理解

の目標：人間の理解に必要な心身の構造や機能、生活支援に必要なころとからだの関係、認知症と障害などについて、福祉を実践する際の根拠を理解するとともに関連する技術を身に付け、生活支援を行うために必要な資質・能力を育成する

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立生活の支援に必要なころとからだについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	自立生活の支援に必要なころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全持続的な社会の構築を目指して自ら学び、ころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1編：ころとからだの基礎的理解 第2章：からだのしくみの理解 【知識及び技術】 からだのしくみについて、身体の名前や可動域等それぞれを理論的に理解し身につける 【思考、判断、表現等】 からだのしくみについて、それぞれの部位の関連性について考察し、その根拠を示し、表出する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 からだのしくみについて、それぞれの部位の役割を通して、自立につながる支援方法の理解に結び付けるため、話し合いを通して、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う	・指導事項 第2章：からだのしくみの理解 運動器系のしくみ 脳・神経系のしくみ ・教材 教科書、テキスト プリント、PC端末	【知識及び技術】 運動器系、脳・神経系のしくみについて、説明された内容を理解し、適切に記入する 【思考、判断、表現等】 運動器系、脳・神経系のしくみについて、自身のからだの動きなどを通して考察し、根拠を示しながらその内容を記入する 【学びに向かう力、人間性等】 運動器系、脳・神経系のしくみについて、それぞれの機能が自分らしい生活に結び付けることができるグループで話し合い、内容をまとめ、発表する	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第1編：ころとからだの基礎的理解 第2章：からだのしくみの理解 【知識及び技術】 からだのしくみについて、身体の名前やしくみ等それぞれを理論的に理解し身につける 【思考・判断・表現】 からだのしくみについて、それぞれの部位の関連性について考察し、その根拠を示し、表出する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 からだのしくみについて、それぞれの部位の役割を通して、生活上の支援方法の理解に結び付けるため、話し合いを通して協働的に取り組む態度を養う	・指導事項 第2章：からだのしくみの理解 循環器系のしくみ 呼吸器系のしくみ ・教材 教科書、テキスト プリント、PC端末	【知識及び技術】 循環器系、呼吸器系のしくみについて、説明された内容を理解し、適切に記入する 【思考、判断、表現等】 循環器系、呼吸器系のしくみについて、自身のからだの機能などを通して考察し、根拠を示しながらその内容を記入する 【学びに向かう力、人間性等】 循環器系、呼吸器系のしくみについて、生活上の安定につながる支援方法について、話し合いを通してまとめ記入する	○	○	○	15
定期考査				○	○		1
	第1編：ころとからだの基礎的理解 第2章：からだのしくみの理解 【知識及び技術】 からだのしくみについて、身体の名前や可動域等それぞれを理論的に理解し身につける 【思考、判断、表現等】 からだのしくみについて、それぞれの部位の関連性について考察し、その根拠を示し、表出する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 第2章：からだのしくみの理解 血液・免疫系のしくみ 消化器系のしくみ ・教材 教科書、テキスト プリント、PC端末	【知識及び技術】 血液・免疫系、消化器系のしくみについて、説明された内容を理解し、適切に記入する 【思考、判断、表現等】 血液・免疫系、消化器系のしくみについて、自身のからだの働きや防衛機能などについて日常で必要な手立てを考察し、根拠を示しながらその内容を伝える 【学びに向かう力、人間性等】 血液・免疫系、消化器系のしくみについて、それぞれの機能が自分らしい生活に結び付け	○	○	○	13

からだのしくみについて、それぞれの部位の役割を通して、自立につながる支援方法の理解に結び付けるため、話し合いを通して、主

ることができるかグループで話し合い、内容をまとめ、発表する

	体的かつ協働的に取り組む態度を養う						
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>第1編：こころとからだの基礎的理 第2章：からだのしくみの理解</p> <p>【知識及び技術】 からだのしくみについて、身体の名 称やしくみ等それぞれを理論的に理 解し身につける</p> <p>【思考・判断・表現】 からだのしくみについて、それぞ れの部位の関連性について考察 し、その根拠を示し、表出する力 を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 からだのしくみについて、それぞ れの部位の役割を通して、生活上 の支援方法の理解に結び付けるた め、話し合いを通して協働的に取 り組む態度を養う</p>	<p>・指導事項 第2章：からだのしくみの理解 感覚器系のしくみ 内分泌系のしくみ</p> <p>・教材 教科書、テキスト プリント、PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 感覚器系、内分泌器系のしくみに ついて、説明された内容を理解し、 適切に記入する</p> <p>【思考、判断、表現等】 感覚器系、内分泌器系のしくみに ついて、自身のからだの機能など を通して考察し、根拠を示しなが らその内容を記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 感覚器系、内分泌器系のしくみに ついて、生活上のからだの変化に 気付きながらより良い支援方法 について、話し合いを通して共有 する</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学期	<p>第1編：こころとからだの基礎的理 第2章：からだのしくみの理解</p> <p>【知識及び技術】 からだのしくみについて、身体 の名称や可動域等それぞれを理論 的に理解し身につける</p> <p>【思考、判断、表現等】 からだのしくみについて、それぞ れの部位の関連性について考察 し、その根拠を示し、表出する力 を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 からだのしくみについて、それぞ れの部位の役割を通して、自立に つながる支援方法の理解に結び 付けるため、話し合いを通して、 主体的かつ協働的に取り組む態 度を養う</p>	<p>・指導事項 第2章：からだのしくみの理解 泌尿器系のしくみ 生殖器系のしくみ</p> <p>・教材 教科書、テキスト プリント、PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 泌尿器系、生殖器系のしくみに ついて、説明された内容を理解し、 適切に記入する</p> <p>【思考、判断、表現等】 泌尿器系、生殖器系のしくみの理 解から、介助方法に結び付けられ るよう考察し、根拠を示しなが らその内容を記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 泌尿器系、生殖器系のしくみに ついて、機能の変化に対する介助 方法についてグループで話し合 い、内容をまとめ、発表する</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

野津田 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 福祉科 科目 介護総合演習

教科：福祉 科目：介護総合演習 単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組

使用教科書： 副教材：最新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習

教科 福祉 の目標： 福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

【知識及び技術】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 介護総合演習 の目標： 介護実習などについて、他科目で学んだ知識などを統合し、課題解決に必要な資質・能力を育成する

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域福祉や社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	地域福祉や社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探索し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>・介護演習</p> <p>【知識及び技術】 介護実習が適切かつ総合的に展開できるように、介護実習の意義や目的などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける</p> <p>【思考、判断、表現等】 介護実習を通して個人情報保護やリスクマネジメントなどについて課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域での継続した生活を支援する介護実習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む</p>	<p>・指導事項 介護演習</p> <p>・教材 プリント、PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 介護実習施設の概要のみならず、意義や目的、実習生としての心構えなどの説明された内容を理解し、適切に記入する</p> <p>【思考、判断、表現等】 これまで他科目で学んだ知識と技術を統合し、具体的な事例について考察し、より良い生活支援について記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事例をから得た課題について、解決方法などをグループの中で話し合い、より良い方法を見つけ出し、発表する</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>・事例研究</p> <p>【知識及び技術】 事例研究を通してサービス利用者の心理や生活状態などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける</p> <p>【思考、判断、表現等】 介護実習や福祉活動などから得た体験についての課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 介護実習や福祉活動などから得た体験について自ら学び、事例研究に主体的かつ協働的に取り組む</p>	<p>・指導事項 事例研究</p> <p>・教材 プリント、PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 介護実習を通して、利用者の心理や生活状態などについて、理解するとともに記入する</p> <p>【思考、判断、表現等】 介護実習から福祉専門職として必要な援助方法や価値観について考え、プリントに記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 介護実習の経験から得た課題について、解決方法などをグループの中で話し合い、より良い方法を見つけ出し、発表する</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	<p>・調査、研究、実験</p> <p>【知識及び技術】 調査、研究、実験を通して、福祉の各分野について理解するとともに、関連する技術を身に付ける</p>	<p>・指導事項 調査、研究、実験</p> <p>・教材 プリント、PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 社会福祉基礎の内容と介護実習での経験から、関連する部分を理解し、記入する</p> <p>【思考、判断、表現等】 介護実習や社会人講師の講演を通して、地域</p>				

3 学 期	<p>【思考、判断、表現等】 福祉の各分野について、調査、研究、実験などを通して課題を発見するとともに、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 福祉の各分野について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む</p>	<p>福祉について、福祉施設の役割等を考察し、その内容を記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習や経験を通して、これからの福祉に必要なことなどを、グループで話し合い、まとめた内容を発表する</p>	○	○	○	11
	定期考査		○	○		1
						合計
						35

